

ウイルス性肝炎対策事業について

宮古保健所 健康推進班

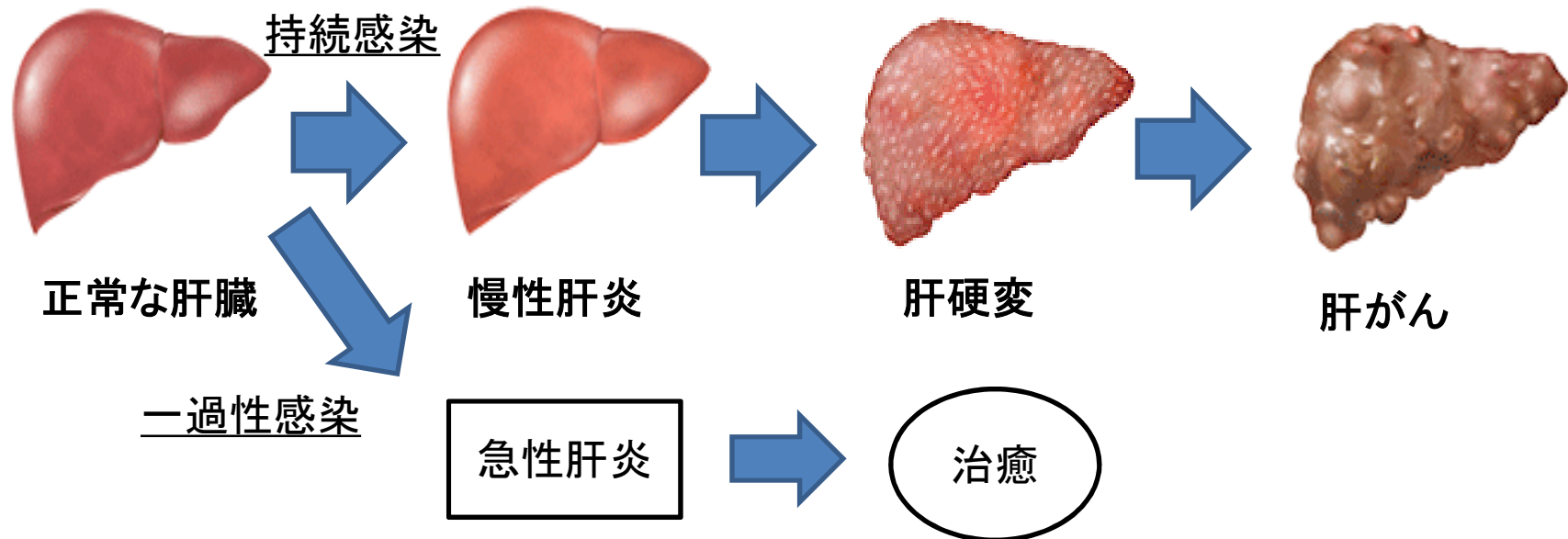


内容

- 肝炎について
- B型肝炎・C型肝炎について
- 沖縄県、宮古管内の陽性率
- ウイルス性肝炎対策事業について
 - (1)重症化予防推進事業
 - (2)肝炎治療促進事業

肝炎とは

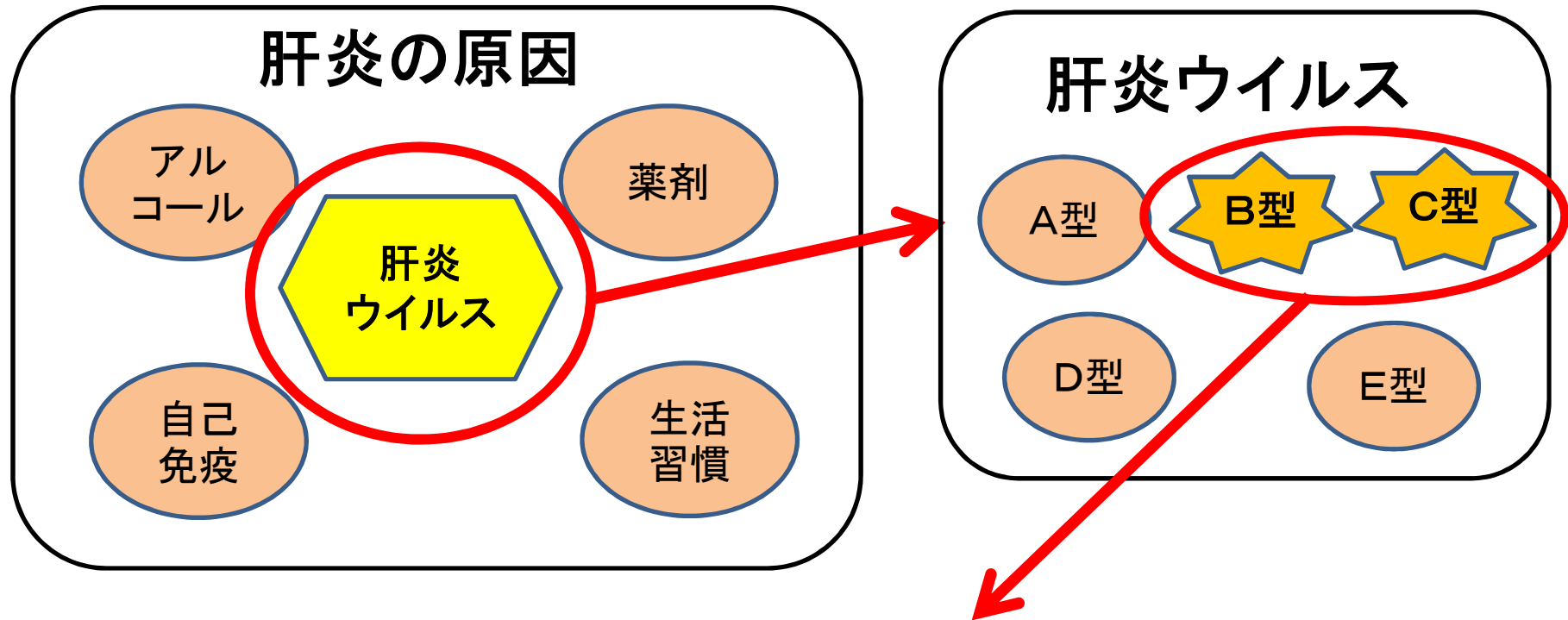
- 肝臓に炎症が起き、細胞が壊れた状態。
 - 肝炎ウイルス、アルコール等、様々な原因で起きる。
 - 食欲不振、倦怠感、吐き気、黄疸等が主な症状だが、初期は症状がないことが多い。
 - 肝硬変、肝がんに行進することもある。
- (日本全体では約8割が肝炎ウイルスが原因とされる)



肝炎の種類

分類(原因)	詳細
ウイルス性肝炎 (肝炎ウイルス)	A型、B型、C型、D型、E型の5種類 A、E型:経口感染 B、C、D型:血液感染
アルコール性肝炎 (アルコール)	アルコールの多飲による肝細胞障害 沖縄県はこの肝炎が多い
非アルコール性 脂肪肝炎(NASH) (生活習慣の乱れ)	肝臓に脂肪がたまり炎症した状態 メタボリックシンドロームの一つとして考えられ、脂肪肝から移行する
薬剤性肝炎 (薬剤)	中毒性肝障害とアレルギー性肝障害の2種類がある
自己免疫性肝炎 (免疫反応異常)	自分の免疫によって起こる肝障害 女性に多い

肝炎対策事業の対象



B型・C型肝炎ウイルスによる

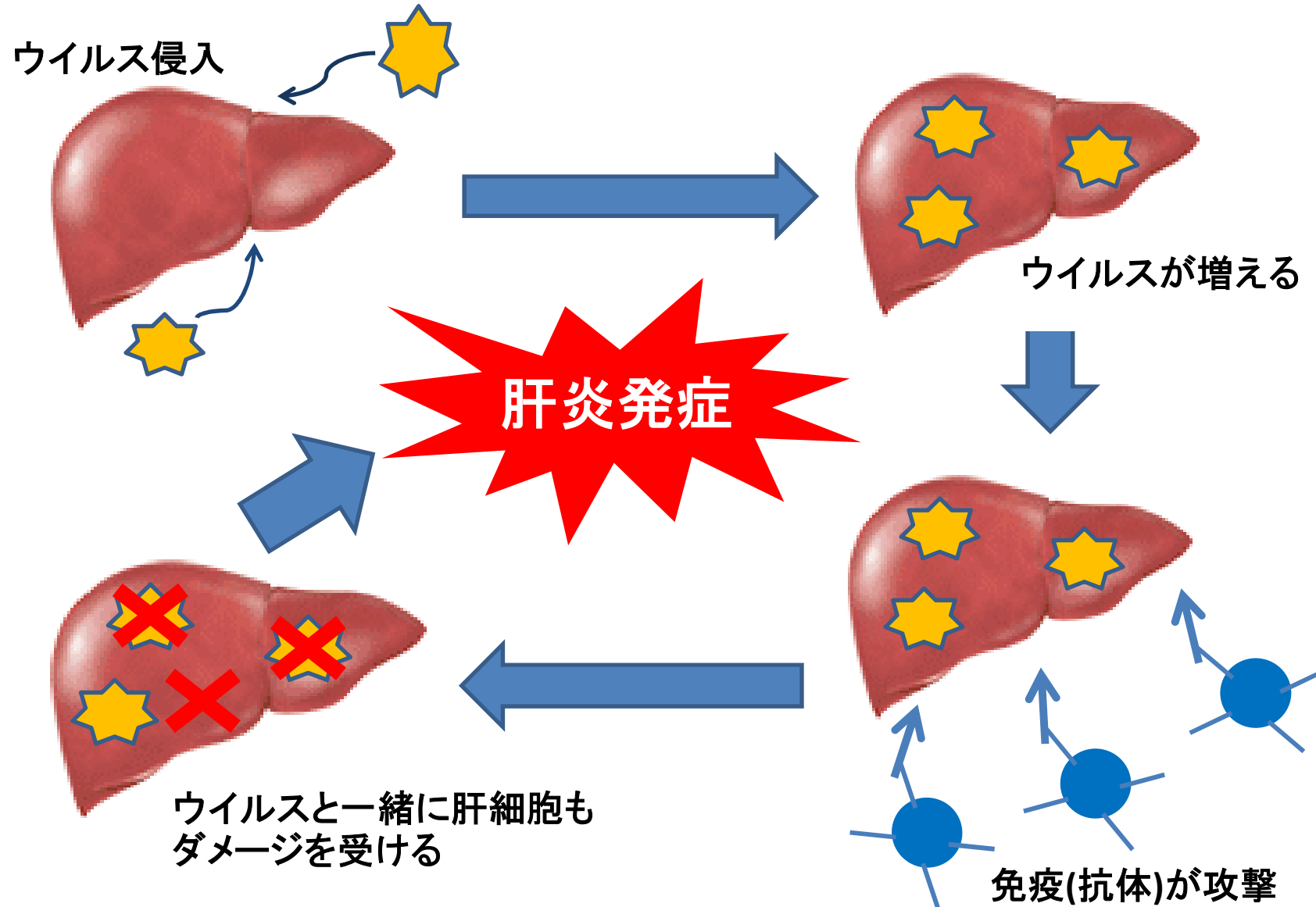


が肝炎対策の対象です

B型・C型肝炎ウイルスについて

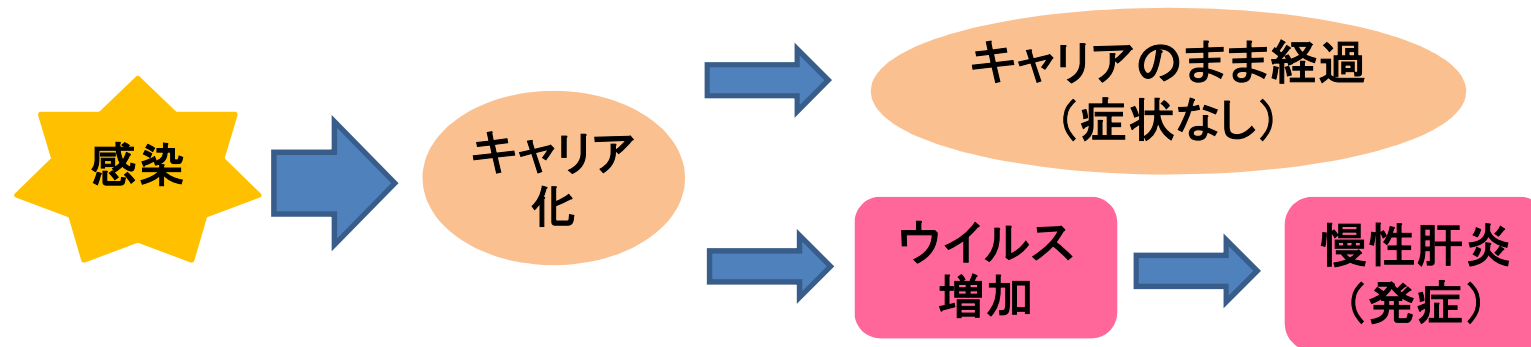
	B型肝炎ウイルス	C型肝炎ウイルス
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ○血液・体液 ・母子感染 ・性行為 ・医療行為(針刺し、輸血等) ・かみそり等の共用 ・注射器の回し打ち ……など 	<ul style="list-style-type: none"> ○血液 ・医療行為(針刺し、輸血等) ・入れ墨 ・注射器の回し打ち ……など <p>※母子感染や性行為による感染もまれにある。</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・感染力が強く、感染者の汗や涙から感染することもある。 ・キャリア化(持続感染)は乳幼児期に感染した人が大半だが、成人で感染してキャリア化する事例も出てきている。 →性感染症化 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染力が弱いため、日常生活で感染することはほぼない。 ・輸血等、医療行為での感染が主。 ・キャリア化しやすく、慢性肝炎や肝硬変、肝がんに移行しやすい。 ・薬でウイルスの排除が可能。
予防接種	あり(H28年10月から定期接種化)	なし

肝炎が生じる理由



B型肝炎・C型肝炎の治療

○肝炎ウイルスに感染している＝治療が必要 とは限らない



【肝炎を起こしていない(発症していない)場合】

・医療機関で定期検査を受けて経過をみる。

※B型はこの状態が多く、発症しない人も多い。

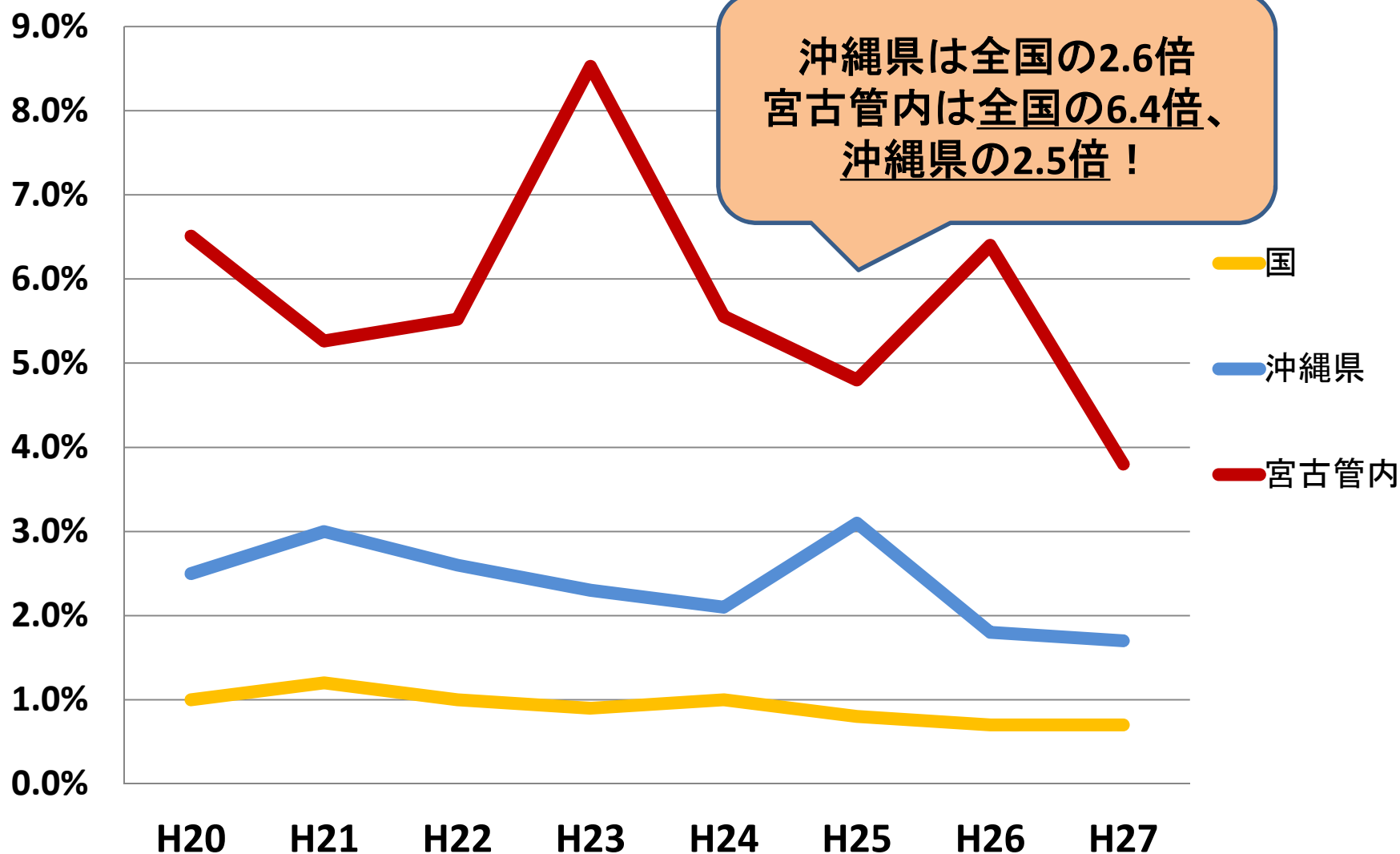
【肝炎を起こしている(発症している)場合】

・内服薬(抗ウイルス薬)や注射で治療を行う。

※C型はウイルスの排除が可能(出来ない場合もある)。

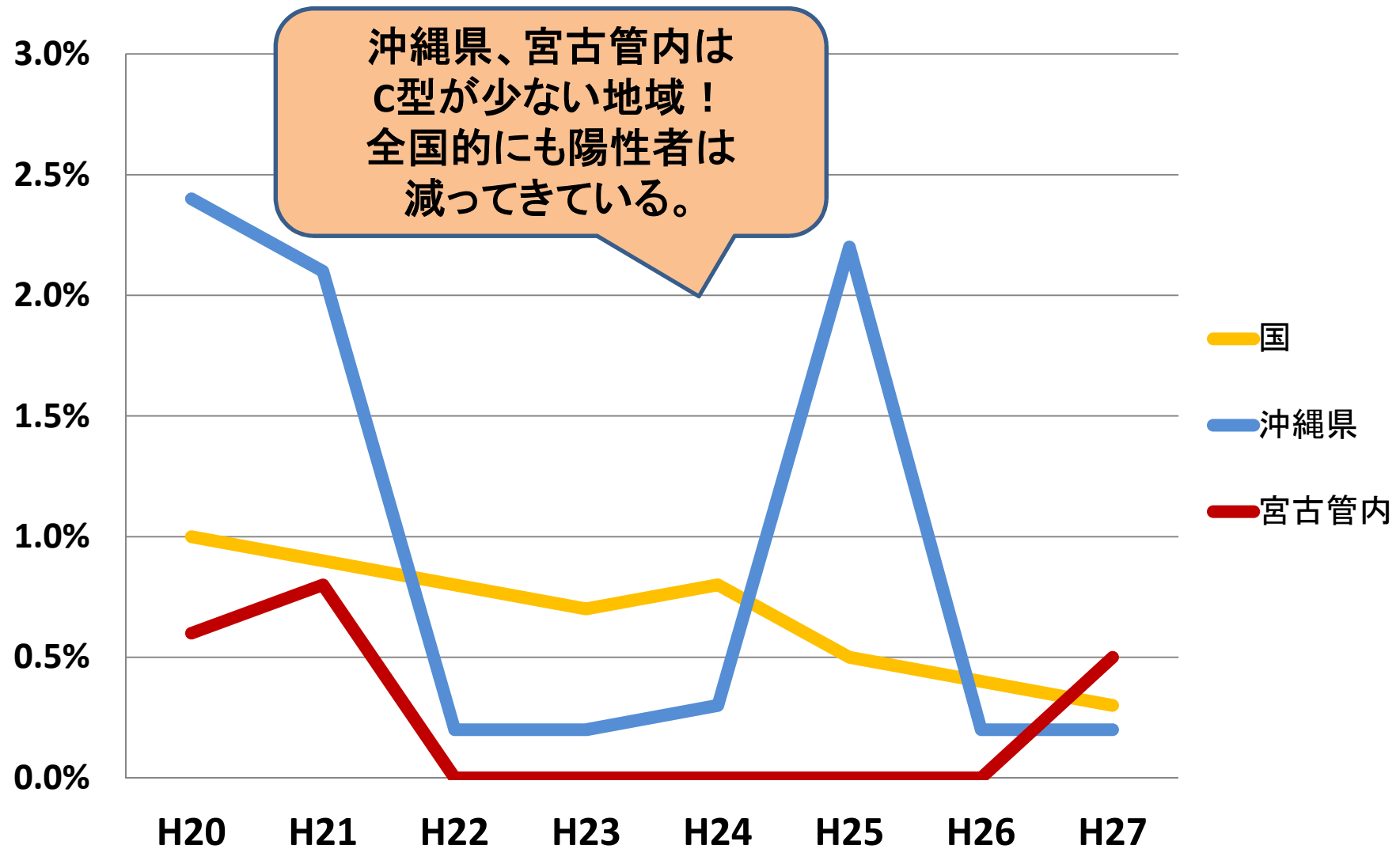
※B型はウイルスの排除ではなく、増殖を抑えることが主。

B型肝炎ウイルス陽性率



厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」より

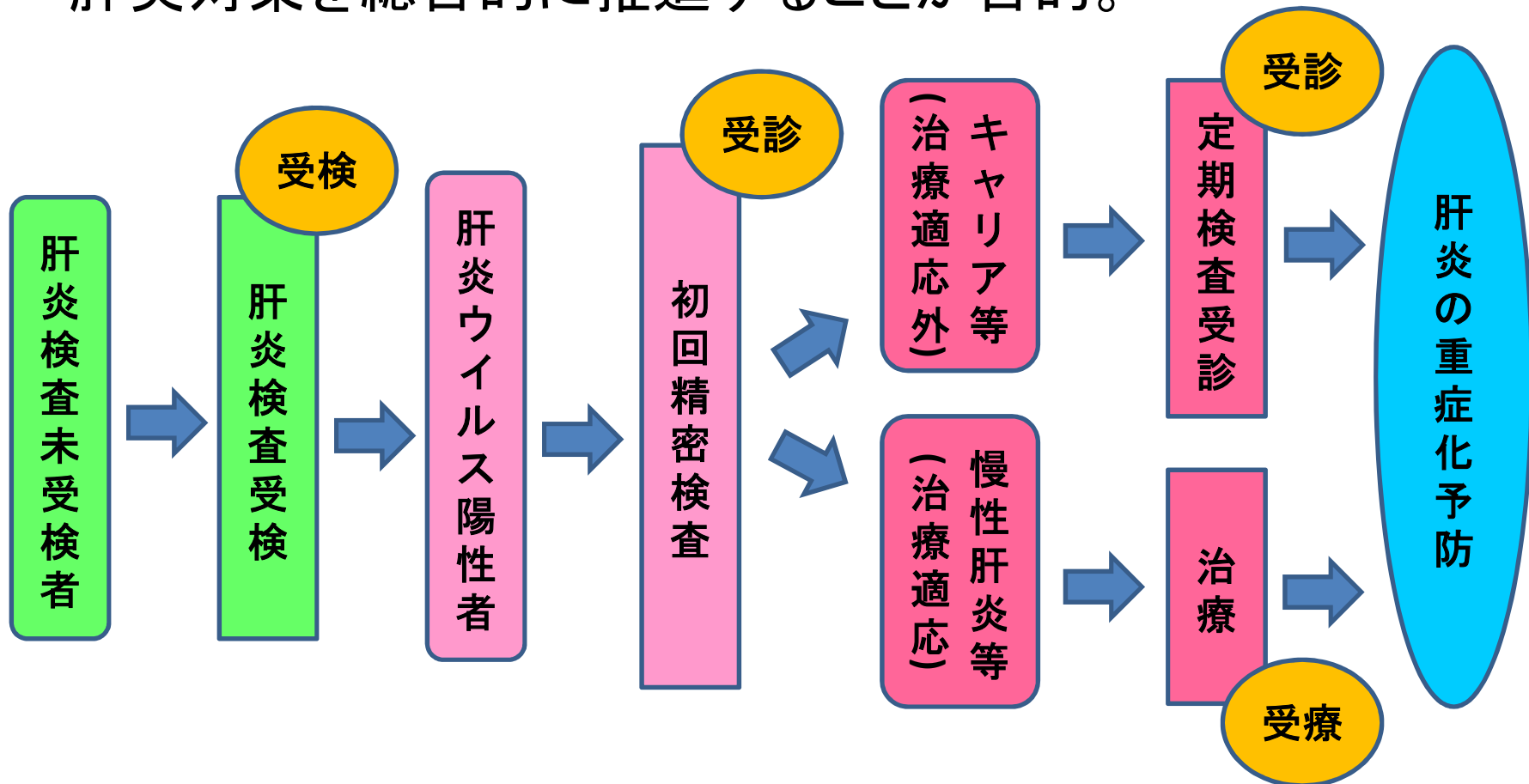
C型肝炎ウイルス陽性率



肝炎対策について

○肝炎対策基本法

- ・平成21年12月4日制定、平成22年1月1日施行
- ・肝炎対策を総合的に推進することが目的。



ウイルス性肝炎対策事業について

○肝炎対策のステップ

ステップ0:「予防」⇒ステップ1:「受検」⇒
ステップ2:「受診」⇒ステップ3:「受療」

(1)沖縄県ウイルス性肝炎患者等の重症化予防 推進事業（予防、受検、受診）

→肝炎ウイルス陽性者の早期発見及び受診勧奨により早期治療につなげ、重症化の予防を図る。

(2)沖縄県肝炎治療促進事業（受療）

→早期治療の促進のため肝炎治療費を助成し、医療機関へのアクセスを改善し重症化や感染防止等を図る。

(1)重症化予防推進事業

【事業内容】

①肝炎ウイルス検査(採血)

日時:火曜日・木曜日 9時～11時、13時～15時

※要予約、初回のみ検査費無料

②B型及びC型肝炎ウイルスに関する相談事業

③陽性者フォローアップ

・保健所の検査で陽性となった人が定期受診出来るようフォローする。

④検査費用助成

・初回精密検査費用及び定期検査費用の一部を助成。

(2)肝炎治療促進事業

○自己負担を超えた額の治療費を助成する。

【対象医療】※保険適用の治療のみ

- ・B型肝炎に対する「インターフェロン治療」及び「核酸アナログ製剤治療」
- ・C型肝炎に対する「インターフェロン治療」及び「インターフェロンフリー治療」

※治療によっては肝硬変も適用される場合あり。

【対象者】

- ・沖縄県民、被保険者

【助成期間】

- ・原則1年以内

※治療によっては複数回助成、更新が可能な場合あり。

【自己負担】

- ・所得に応じて月10,000円又は20,000円

保健所での検査及び申請数

○肝炎ウイルス検査受検者数

(人)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
検査数	B型	72	101	160	78	75
	C型	43	26	97	46	61
B型肝炎ウイルス陽性数		2	8	11	2	4
C型肝炎ウイルス陽性数		0	0	0	0	0

○肝炎治療費助成の申請件数

(件)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
B型肝炎	新規	13	16	7	18	6
	更新	22	27	40	42	53
	合計	35	43	47	60	59
C型肝炎	新規	3	2	3	11	5
	更新	1	0	1	0	0
	合計	4	2	4	11	5

終わりに

○宮古管内はB型肝炎ウイルスを持っている方が多く
お酒を飲む機会も多いため肝臓に負担がかかりやすい環境です。

○肝炎検査を受けたことがない方は、検査を受けることをお勧めします。

(検査)※要予約

毎週火曜日・木曜日 9時～11時、13時～15時

HIV、クラミジア、梅毒検査も受検可能。

○肝炎についてのご相談も受け付けております。

(お問い合わせ・検査予約)

宮古保健所 健康推進班 ☎ 0980-73-5074

ご清聴ありがとうございました

検査は、無料・匿名で受けられます！

宮古保健所では、HIV/AIDS(エイズ)、梅毒、クラミジア及び
肝炎ウイルスに関する検査・相談を無料・匿名(肝炎は実名)で行っています。
※HTLV-1は家族に陽性者(感染者)がいる場合のみ対象となります。

検査日 ※予約制

毎週(火)(木)9時~11時/13時~15時(祝日・年末年始は除く)

※予約は検査希望日の2週間前から受け付けます。

※都合により検査が実施出来ない場合がありますので、必ず下記お問い合わせ先までご連絡をお願いします。

※最新の情報は保健所にご確認ください。

料金

無料

(注)肝炎検査は初めて受ける方のみ、HTLV-1検査は家族に陽性者がいる場合のみ無料です。

検査の場所

宮古保健所 1階検査室(入口突き当たり左側)

性感染症・肝炎ウイルス検査一覧

	検査内容	料金	匿名性	結果返し	主な感染経路	症状
HIV AIDS(エイズ)	血液検査	無料	匿名可	約 1時間後	性行為、 血液、 母子感染	●感染から数週間以内にインフルエンザに似た 症状が出る場合がある。 ●自覚症状のない時期(無症候期)が数年続き、 その間にも免疫力の低下が進行する。
クラミジア	女性:膣分泌液 男性:尿検査 ※前回排尿から1時間 以上経過した尿				性行為、 血液、 母子感染	●多くは無症状。 ●男性は排尿時の痛み、女性はおりものの増加 などが特徴。最も感染者が多い。
梅毒	血液検査				性行為、 血液、 母子感染	●HIV感染と重複症状が一番多い。 ●感染後約3週間で感染部位に大豆くらいの赤く て硬い、痛みのないしこりができる。
HTLV-1 (ヒトT細胞白血病 ウイルス)	血液検査	原則 無料 (注)	原則 実名	約 2週間後	性行為、 血液、 母子感染	●HTLV-1に感染していても多くの方は生涯病気 になることはないが、一部の方はATL(血液の病 気)や、HAM(神経の病気)、またはHU(眼の病 気)などを発症する場合がある。
B型肝炎 (HBs抗原)	血液検査			約 1時間後	性行為、 血液、 母子感染	●肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、肝炎ウイルス に感染していても、多くの場合、ほとんど症状は ない。 ●長年経過すると、全身倦怠感や疲れやすさな ど。
C型肝炎 (HCV抗体)				約 2週間後	輸血、 血液製剤	

注意事項

◆匿名で受けることができます。(プライバシー厳守)

ただし他の医療機関の紹介や費用助成の手続き等が必要な場合は、実名等の個人情報をお聞きすることがあります。

◆検査の結果は、面接にて直接ご本人にお知らせします。(電話・郵送ではお知らせしません)

◆結果証明書などは発行はしません。(口頭のみでの結果返しとなります)

◆陽性者の方に対しては、より詳しい検査や治療のために他の医療機関に紹介することがあります。

◆肝炎ウイルス陽性者の方に対しては、陽性者フォローアップや検査費用の助成を行っています。

予約・問い合わせ先

宮古保健所 健康推進班 感染症担当 (TEL: 0980-73-5074)

平成29年4月現在

一生に一度は 肝炎ウイルス検査を受けましょう

肝臓は沈黙の臓器

自覚症状がほとんどありません
ウイルス性肝炎は、肝硬変や
肝がんを起こすことがあります



肝ちゃん

こんな人は検査を受けましょう

- 過去に一度も検査を受けていない
- 母子感染予防策がなかった1985年(昭和60年)以前に生まれた
- 1992年(平成4年)以前に輸血を受けた
- 家族に肝炎ウイルス陽性者または肝がんの患者さんがいる

要予約

肝炎ウイルス検査

毎週火・木曜日

午前9～11時／午後1～3時

B型肝炎・C型肝炎

※急遽日程変更する場合があります。ご了承ください。

1度も検査を
受けたこと
がない方は
無料です☆

☆過去に「陽性」と言われたことがある方へ☆

保健所の検査で分かるのは、肝炎ウイルスを持っているか持っていないか(陽性か陰性か)までです。過去に陽性と言われた方は保健所の検査でも陽性となる可能性が高く、同じ検査を2度受けることになるため、保健所では検査せず、医療機関の受診をお勧めしております。陽性と言われたままになっている方は、検査を受ける前に保健所へご相談ください。

※肝炎検査は市町村の特定健診や人間ドック、献血の時に受けている場合があります。

宮古保健所における アルコール関連問題対策

H29.11.29 保健所運営協議会〈資料〉

宮古保健所 地域保健班

本日の内容について

1. 宮古島の現状について
2. 宮古保健所(地域保健班)における
アルコール関連問題の相談の現状について
3. 宮古保健所(地域保健班)のこれまでの取組
4. 今後のアルコール関連問題対策について

①

宮古島の現状について

1. 宮古島の飲酒実態調査より

調査対象：沖縄県警察安全運転学校宮古分校
運転免許更新講習受講者

調査機関：平成24年7月3日～平成25年1月31日

調査方法：講習受講前に調査用紙を配布自己記入式による回答

調査項目

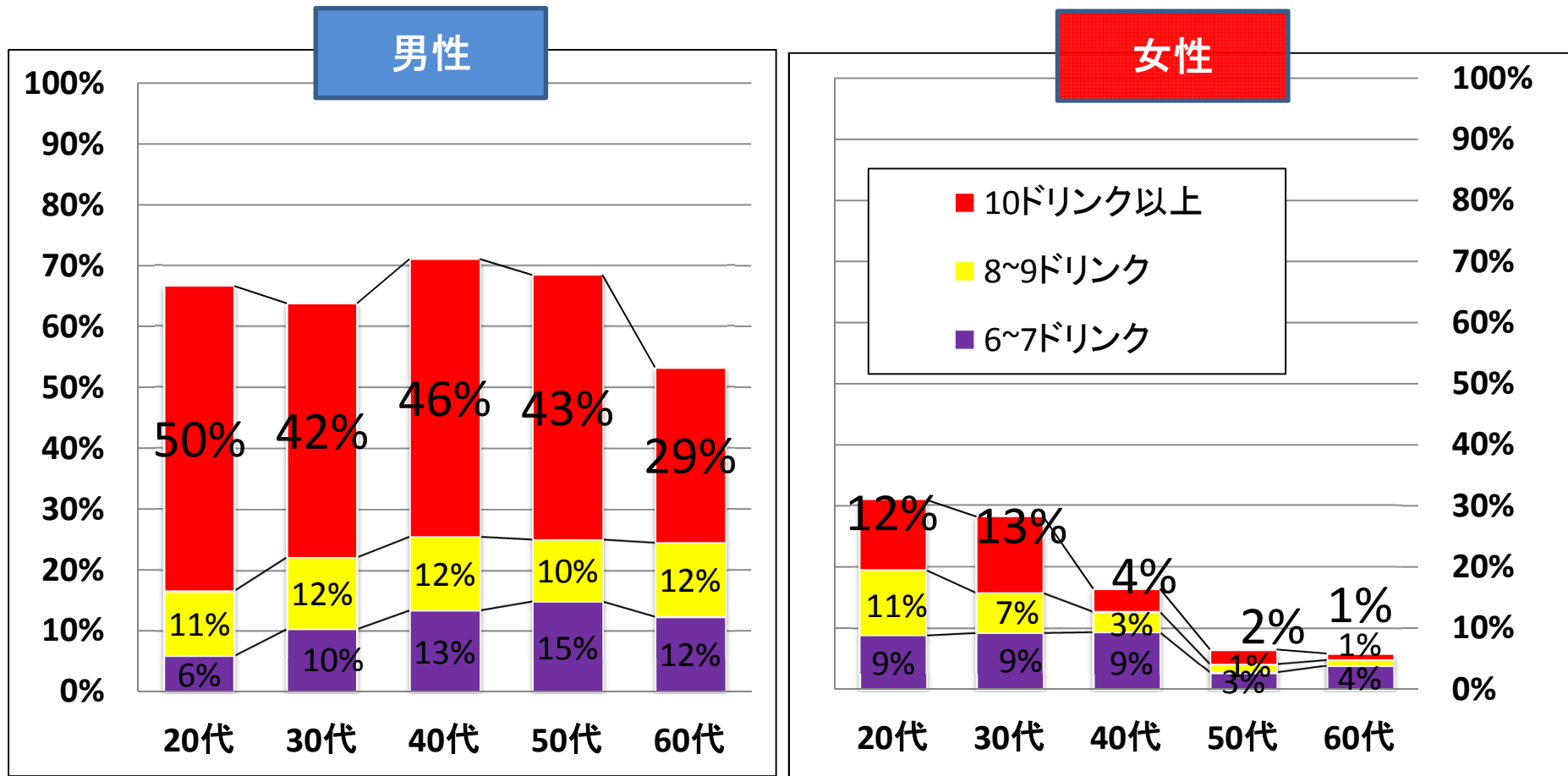
- 1)基本属性・・・性別、年齢、初飲年齢
- 2)AUDIT(アルコール使用障害特定テスト)
- 3)オトーリに関する質問：場面、頻度、好き・嫌いの程度

AUDITとは…

問題飲酒を早期に発見する目的でWHO(世界保健機関)によって作成されたスクリーニングテストである。本調査では簡易版を作成。

純アルコール10g = 1ドリンク

飲酒時に多量飲酒する者の割合



男性は平均して60%以上が多量飲酒をしている。
 女性は20代～30代にかけて30%近く多量飲酒をしている。
 どちらも10ドリンク以上の多量飲酒者の割合が高い。

初飲年 齡

	20歳未満	20歳以上	回答無し	平均 初飲年 齡	未成年飲酒経験者 の平均初飲年 齡
全体	271 (21.9%)	964 (78.1%)	385	20.4歳	17.2歳
男性	207 (32.1%)	457 (68.8%)	128	19.6歳	17.1歳
女性	64 (11.2%)	507 (88.8%)	257	21.4歳	17.4歳

※ 初飲年 齡を忘れたので「20歳」と記入する者もいた。

【男性】

- ・飲酒頻度・多量飲酒の頻度は60代で高い
- ・1回の飲酒量は20~50代が多い
- ・AUDITスコア10点以上が約5割
- ・AUDITスコア20点以上では50代を中心に高い

【女性】

- ・飲酒頻度・多量飲酒の頻度は30代で高い
- ・1回の飲酒量は20代が多い
- ・AUDITスコア10点以上が20代・30代で高い
- ・AUDITスコア20点以上では20代で高い

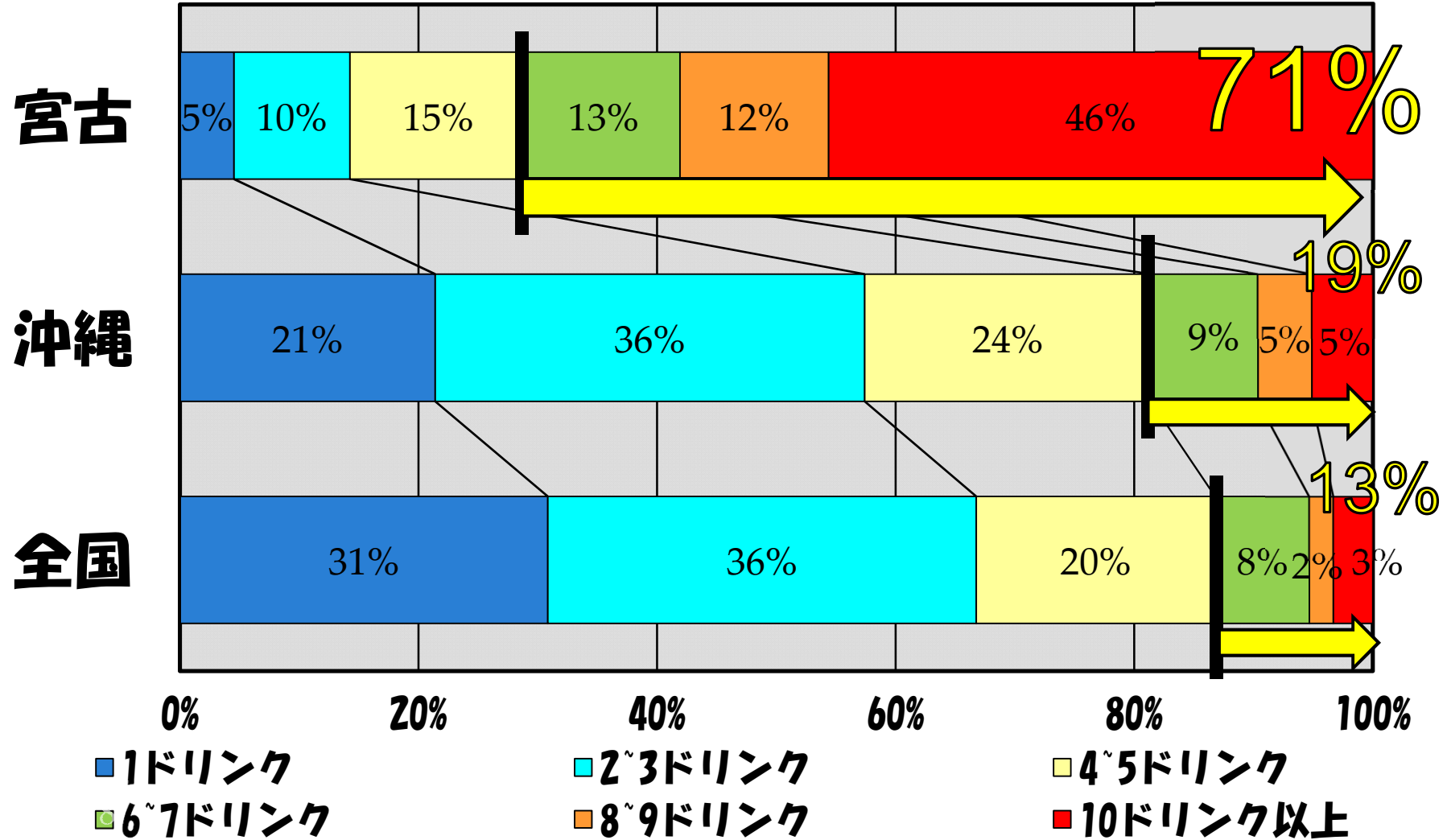
【男女共通】

- ・未成年飲酒がある

2-1. 県民健康・栄養調査より

飲酒日の1日の飲酒量(男性)

参考:平成23年度県民健康・栄養調査(沖縄県)
平成23年度国民健康・栄養調査

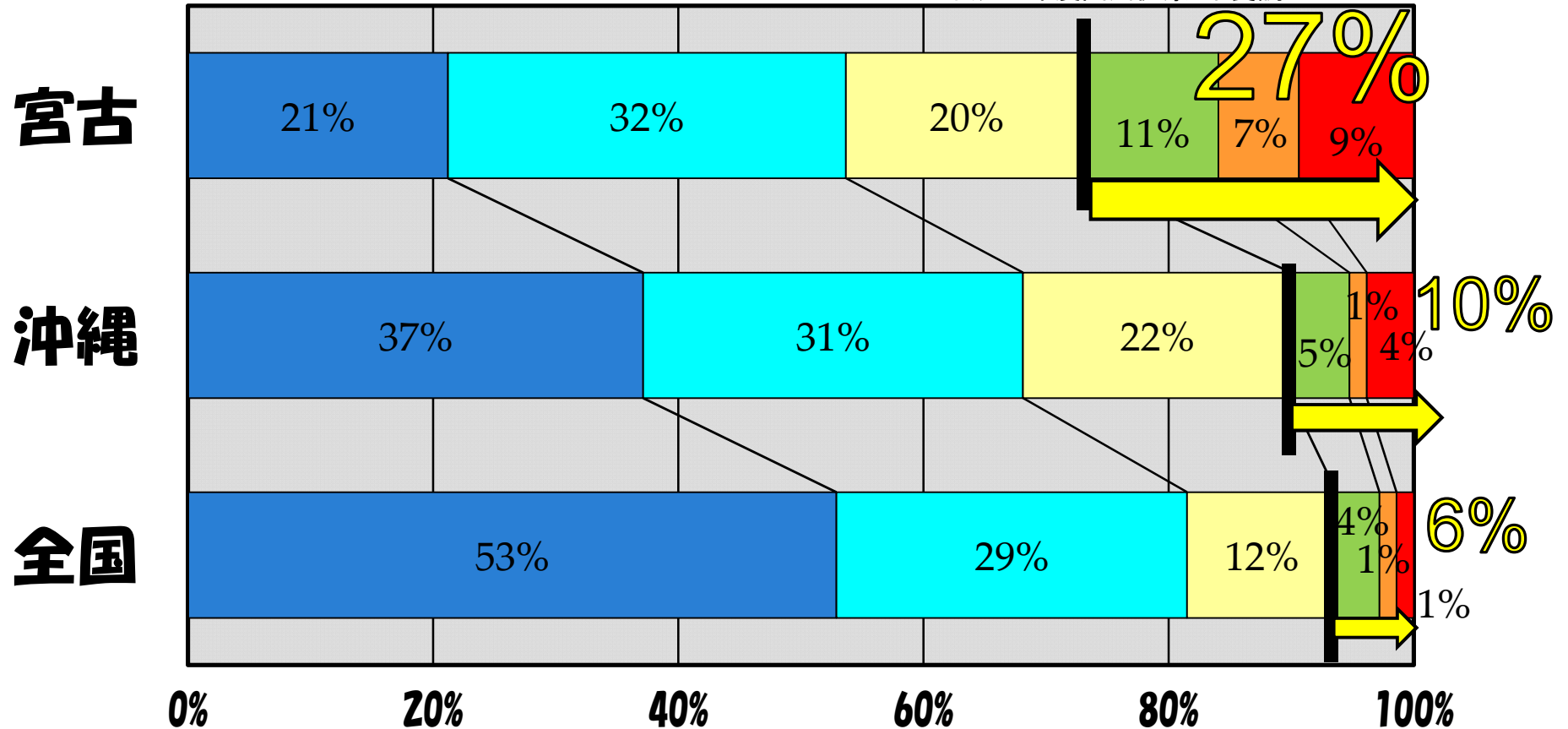


沖縄県の約4倍

全国の約5倍

2-1. 県民健康・栄養調査より

飲酒日の1日の飲酒量(女性) 参考:平成23年度県民健康・栄養調査(沖縄県)
平成23年度国民健康・栄養調査



沖縄県の約3倍 **全国の約4倍**

3. 宮古島の医療機関の現状

【精神科(病院・医院・クリニック)】

・4カ所

※アルコール依存症の入院を受け入れることのできる医療機関1カ所

【内科標榜医療機関】

・21カ所

※ARP(アルコール依存症回復プログラム)実施の医療機関無い。

※依存症専門の病棟・医療機関は無い。

宮古病院が精神科病棟で入院の受け入れを行っている。

現状から見える宮古島圏域の課題

☆男女共に、多量飲酒者の割合が全国・沖縄本島に比べて多い。

☆お酒の初飲年齢が早い。

☆依存症治療専門の医療機関がない。

②

〈宮古保健所における〉

アルコール関連相談の

現状について

②-1. アルコール関連問題について

①相談件数（H28年度）

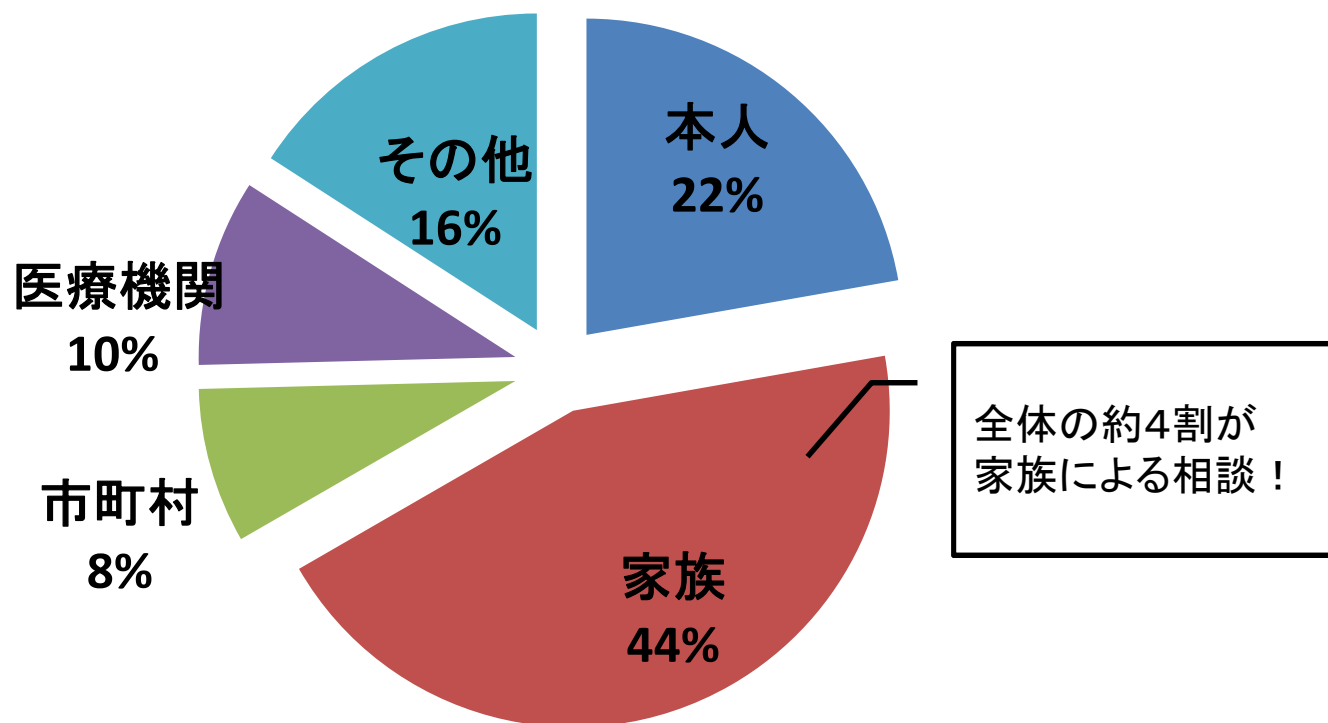
	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度
訪問	4件	27件	19件	15件	19件	26件
電話	70件	79件	61件	24件	37件	29件
来所	17件	16件	16件	21件	11件	19件
合計	91件	122件	96件	60件	57件	74件

②新規相談件数

	H26	H27	H28
全体	27	44	42
アルコール	9	17	16

毎年、新規相談全体の3～4割をアルコール関連の相談が占めている。

③相談者の内訳（H28年度）



・相談者は家族からの相談が最も多く、次に当事者からの相談が多い。

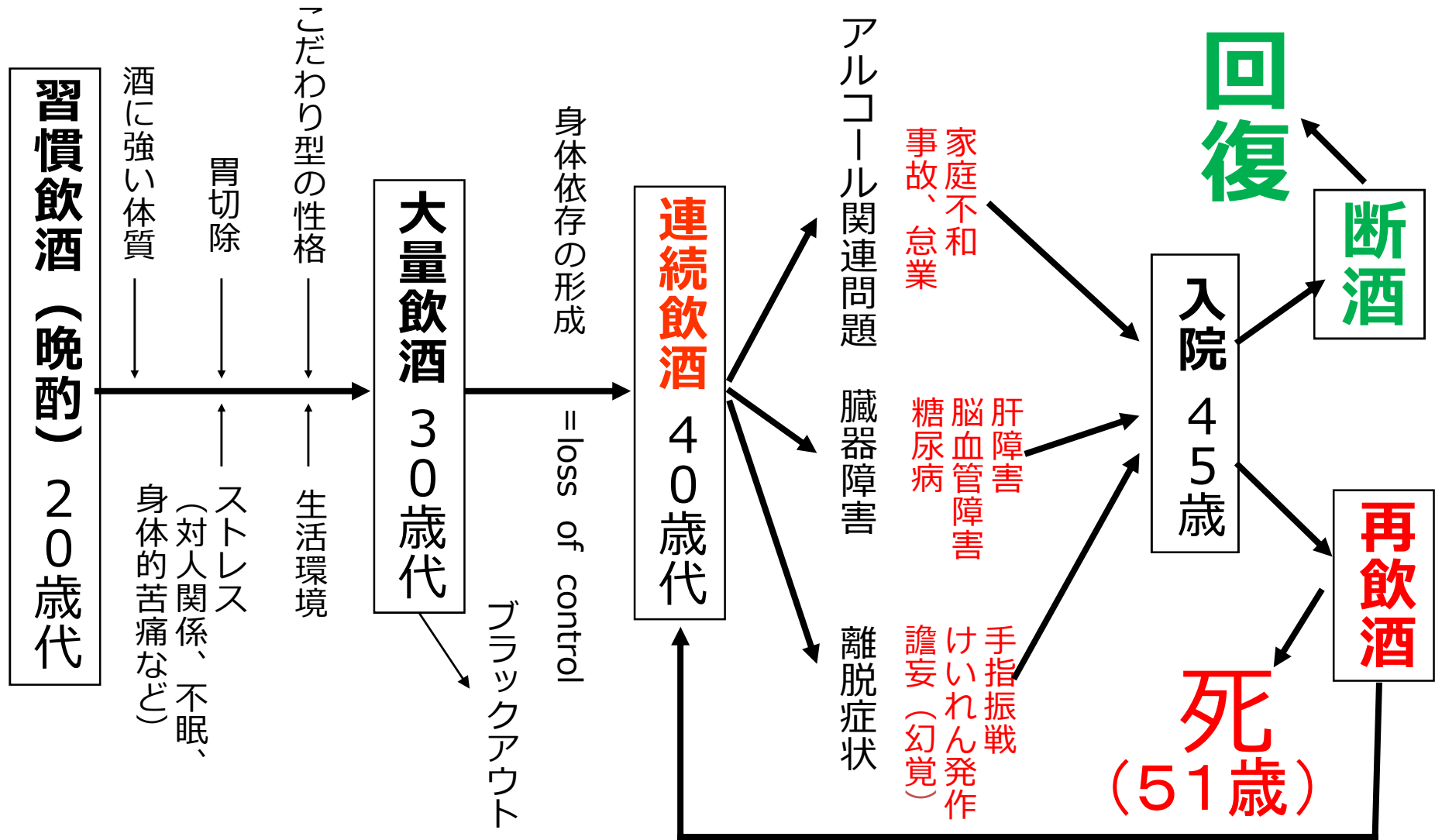
★宮古島の相談内容の特徴★

- ①家族からの相談が多く、次に本人からの相談が多い。
- ②内容としては「依存症ではないか」「毎日飲み続けているがどうしたら良いか」「酒を飲んで暴れる」等の相談が多い。
- ③多量飲酒からの相談は少なく、問題飲酒・問題行動・体調悪化等、事態が悪化してからの相談が多い。
- ④飲酒して暴れる・多量飲酒ということが日常の風景とされ、問題のある状態と認識が薄い。

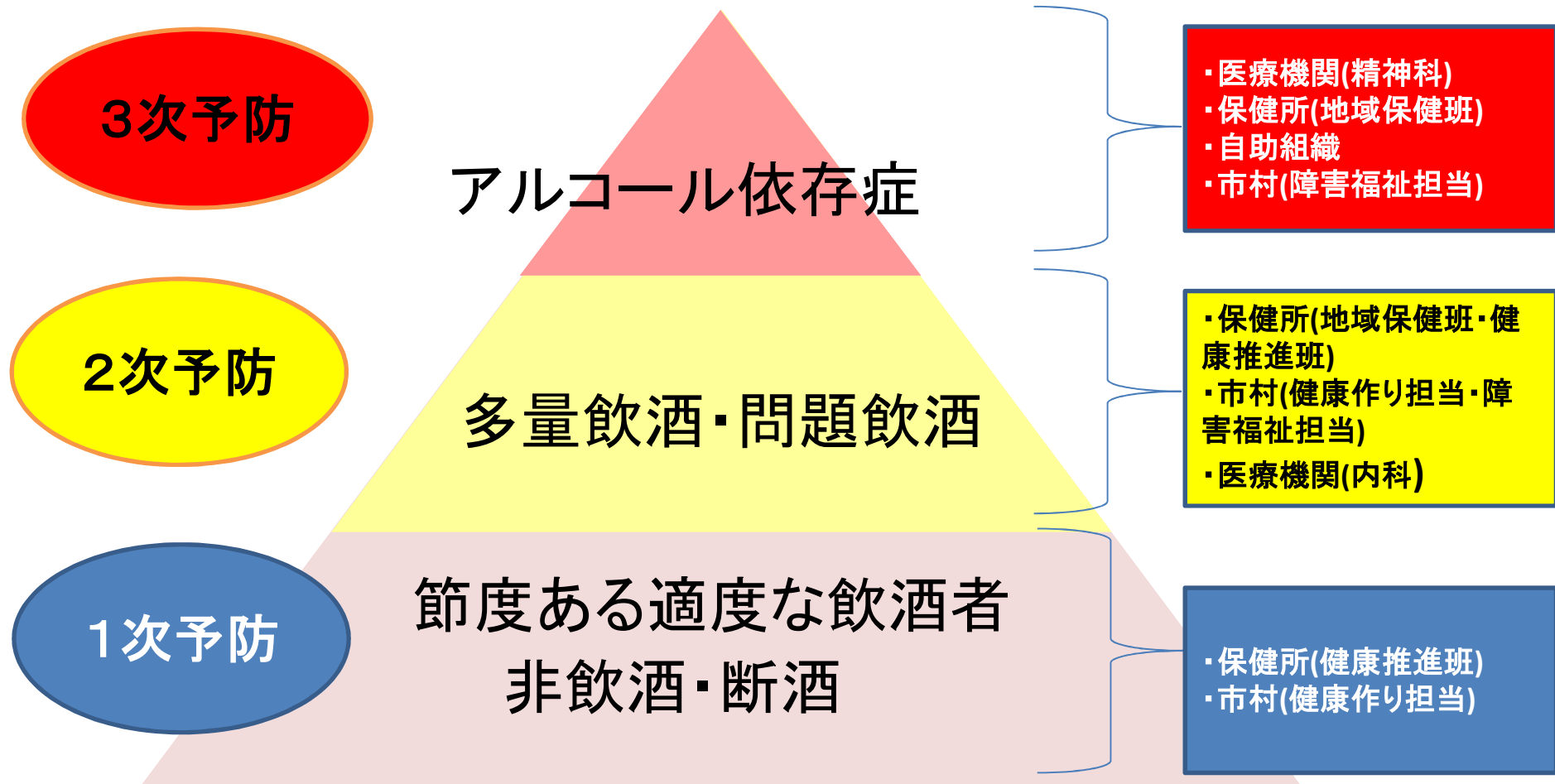
③

宮古保健所における
アルコール対策事業

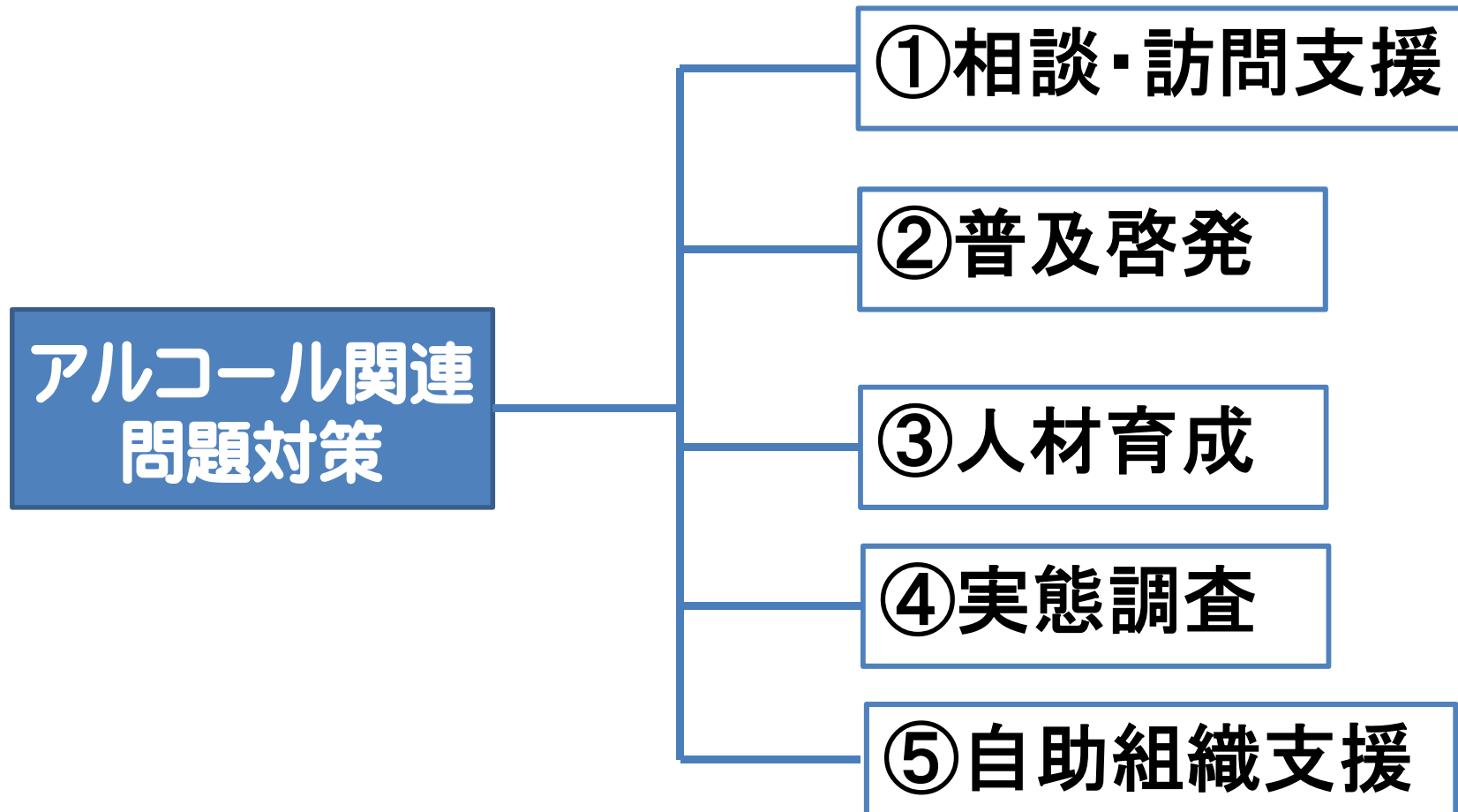
アルコール依存症になるまで



アルコール問題の構造



地域保健班における アルコール関連問題対策



②普及啓発

- ・自殺対策の習慣・月間における適正飲酒量の周知、アルコール依存症のパネル展示。
- ・精神保健普及月間における講演会

③人材育成事業

- ・アルコール健康問題に関する研修会(支援者)
- ・**CRAFT家族教室(家族対象)**

①過去のアルコール関連の相談対応

● 「底つきを待ちましょう」と伝える

底つきとは：飲酒し続ける本人が、アルコールの恐ろしさに気付き、アルコールに対し自分は無力だと完全に負けを認めるまで手出しをしないこと。

→自分のことを依存症だと認めるためには、底つき体験が必要と言われているが、底付きを待ち過ぎることで、亡くなってしまうこともある。

● 家族に「～してはいけません」を強調する

→家族はさらに自責感を強くする

→指示が実行できないと落ち込む

→家族だけが我慢する展開になりがち

● どうしても本人が受診を拒否した場合

→無力「今はどうしようもないですね」

②課題と取り組み

【課題】

来所・電話相談で最も多い**家族への支援スキルが不十分。**

今までの相談対応方法は、家族に対して「否認」や「手を離すこと」、「共依存」といった概念を教え、家族が乱用者から離れることをアドバイスをしてきた。

これからは、アルコール乱用者が問題を直面化できる方法を**家族と考える支援が必要。**

CRAFTの活用

CRAFTとは？

CRAFT (Community Reinforcement and Family Training) コミュニティー強化と家族訓練。

飲酒による被害を受けている家族が患者と肯定的コミュニケーションをとりながら本人を治療へと向かわせる方法を一緒に考えるプログラム。



★CRAFT家族教室の実施★

【H27年度よりCRAFT家族教室をスタート!!】

全7プログラム（3回）で教室を実施。うち2回は保健師による健康講話実施

- 1回
 - ① 「状況をはっきりさせよう」
 - ② 「安全第一（暴力への対策）」
- 2回
 - ③ 「コミュニケーションスキル」
 - ④ 「望ましい行動を増やす方法」
 - ⑤ 「イネイフリングをやめるとは」
- 3回
 - ⑥ 「あなた自身の生活を豊かにする」
 - ⑦ 「治療をすすめる」

④実態調査

- ・宮古島の飲酒実態調査
- ・多良間村における飲酒実態調査

⑤自助組織支援

- ・断酒会例会への参加
- ・断酒会員への研修会参加への案内
- ・研修会の実施

自助グループとは

アルコール依存症の当事者が集まり自らの酒害体験や問題を語り合い、励ましあうことで、断酒継続を志向していくグループ、またはその集会のことです。

特徴

体験談に徹する・批判、アドバイスはしない『いいっぱなし、聞きっぱなし』
自分の話が共感をもって受け入れられる・孤独感からの解放
回復している人が多数いる・絶望感からの解放
再飲酒したいとき、してしまった時の支えになる・問題飲酒再開の防止

宮古島の場合

あだんの会(断酒会) : 日時 : 毎週金曜日 19:00～21:00
場所 : 宮古保健所 1階 デイケア室

やしがにの会(宮古断酒家族会) : 断酒会と合同で実施している

アルコール関連問題対策の経過【 地域保健班 】

項目	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	備考
相談・個別支援	電話相談・来所相談・面談・家庭訪問									
啓発教育							※合同 ○多良間村アルコール講演会(住民)		○精神保健普及月間アルコール問題講演会 ○多良間村コミュニティー祭り	
人材育成	○アルコール健康教室	○アルコール健康教室	○アルコール健康教室	○アルコール健康教室		○アルコール関連問題の早期介入研修会(HAPPY)	※合同 ○多良間村アルコール研修会(職員) ○CRAFT家族教室 ○CRAFT研修報告	○CRAFT家族教室 ○アルコール関連問題相談対応研修会 ○多良間村断酒会 設立支援	○CRAFT家族教室 ○アルコール関連問題支援者研修会	
会議					※地域保健班「宮古地域における飲酒実態調査」の中間報告会	○アルコール関連問題対策関係機関会議	○宮古島市アルコール関連関係者会議 ○多良間村アルコール関連関係者会議	※健康推進班主催 ○アルコール健康障害対策関係者会議	○アルコール関連問題担当者会議(本庁)	
実態調査・計画				※地域保健班「宮古地域における飲酒実態調査」			○多良間村における飲酒実態調査(合同)	・沖縄県アルコール健康障害対策基本計画策定のための意見交換・意見書の提出		※H30年度より沖縄県アルコール問題健康障害対策基本計画の施行予定
自殺対策基本法＋精神保健福祉法						自殺対策基本法＋精神保健福祉法＋アルコール健康障害対策基本法				

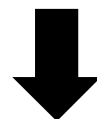
④

今後のアルコール関連問題 対策について

アルコール健康障害対策基本法について

○アルコール健康障害対策基本法

(H26年6月1日施行)



○アルコール健康障害対策推進計画の策定

(H28年5月通知)



○沖縄県は、今年度から「**沖縄県アルコール健康障害対策推進計画**」を作成中。

アルコール健康障害対策推進計画

重点課題①

飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防

- (1)特に配慮を要する者(未成年者、妊産婦、若い世代)に対する教育・啓発.
- (2)アルコール依存症に関する正しい知識・理解の啓発.

アルコール健康障害対策推進計画

重点課題②

アルコール健康障害に関する予防及び相談から、治療・回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備

- (1) アルコール健康障害への早期介入.
- (2) 地域における相談拠点の明確化.
- (3) アルコール健康障害を有している者とその家族を相談、治療、回復支援に繋ぐための連携体制の推進.

今後の計画

重点課題①

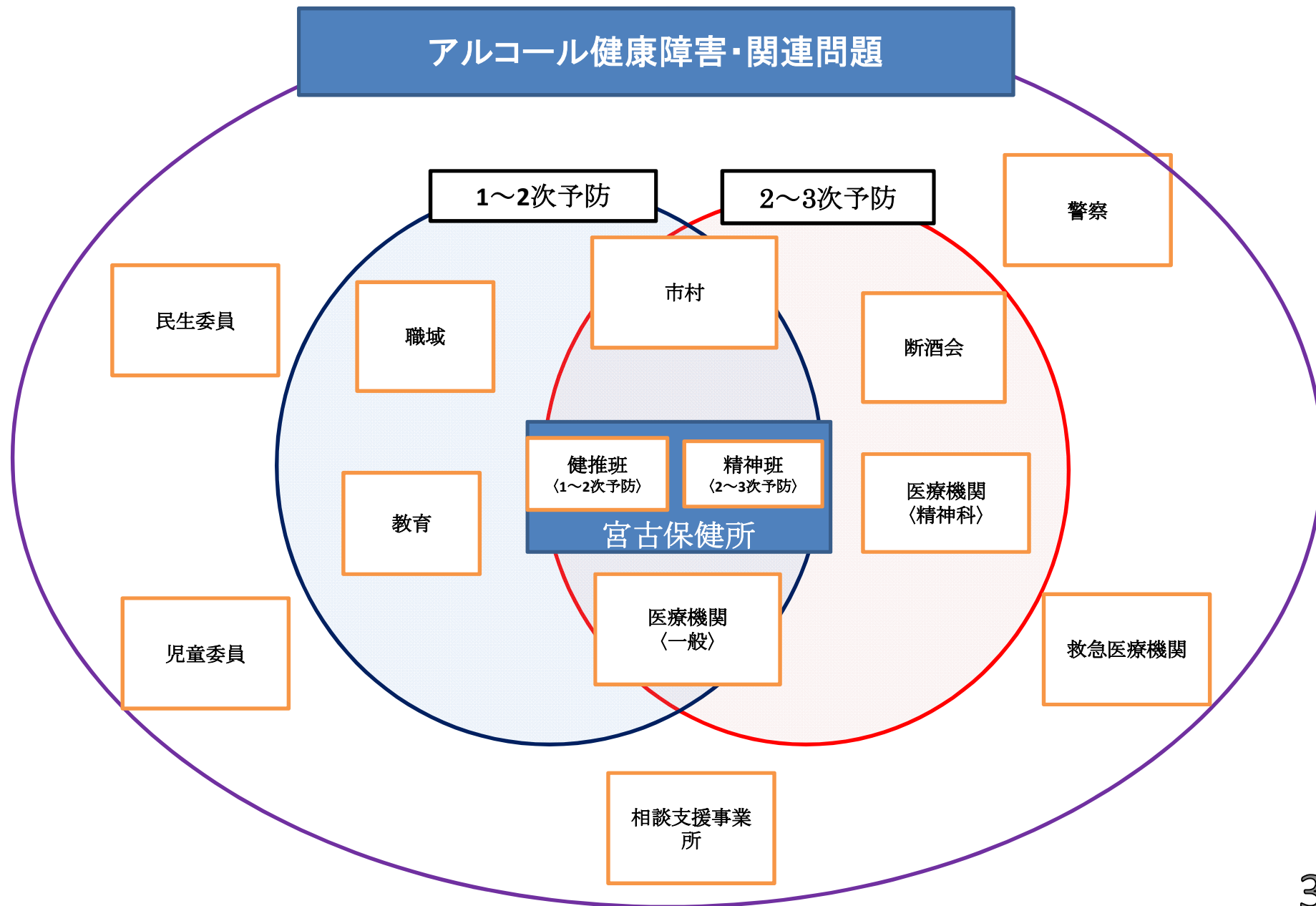
- (1)精神保健普及月間・自殺対策月間・習慣における**適正飲酒量**の普及啓発。
- (2)アルコール依存症についての**正しい知識**の普及。
- (3)特に配慮を要する者(**未成年者、妊産婦、若い世代**)への教育・啓発として、**教育・市村・職域との連携を強化する**。
- (4)**自助組織の活動をサポート**し、連携して回復支援を行う。

今後の計画

重点課題②

- (1)相談窓口の**周知・明確化**。
- (2)アルコール健康障害対策における**ネットワークの整備・支援者会議の実施**。
- (3)個別支援・相談対応における**スキルの向上**
- (4)地域の支援者の質を高めるため、**研修会の実施**。

宮古圏域アルコール問題連携体制: イメージ





適正飲酒量は

○1日2ドリンク以下！

ご静聴ありがとうございました